

洛陽工業高校『宇宙にいちはん近い高校』プロジェクト

○概要

宇宙工学、宇宙開発関連産業、天文学などの分野に関して外部の大学・研究機関や企業と連携し、ロケット製作・打ち上げや天体観測などを通して生徒のモチベーションとものづくりの技術を向上させる。

さらに宇宙開発関連産業へのキャリアパスも視野に入れた取組とする。

○具体的な取り組み

①金環日食の観測

2012年5月21日に起きた金環日食の観測を行った。

→賀茂川河川敷での北限界線の測定・・・NHK BS プレミアム「コズミック・フレント」で紹介

→学校での観測・・・朝日新聞、[京都新聞](#)で紹介

②金星太陽面通過の観測

チリ大学の呼びかけによる国際共同観測に参加した。

③ハイブリッドロケットの開発・打ち上げ

和歌山大学宇宙教育研究所と連携し、ハイブリッドロケットを開発・製作し、2013年度に打ち上げる。

④公開講演会の実施

宇宙開発や天文学の研究者や技術者を招聘して公開講演会を行う。

⑤大学との連携

和歌山大学宇宙教育研究所、龍谷大学理工学部、京都産業大学等と連携（予定も含む）し、ロケット製作・打ち上げや天体観測を行う。

⇒詳細については近日中にWebにて公開の予定